

ふしぎごとぶん

たいふうがくる

第160号

2014年
10月号

いつくるかわかるふしぎ



じゆうがつになつたというのに、
てんきよほうでは「こんやには
また たいふうが きそうです。
「うえきばちは、へやの なかに
いれたし、 あまどは しっかり
しめたし、たいふうの そなえは
かんぺきだ!」と、おとうさん。
みいこちゃんも うなずきます。
「かんぺきよ おとうさん! ね
え、でも どうして たいふうが
くるのが もう わかるの?」
「それは、きしようちょうの ひ
とが、 てんきの いろいろを
しらべるから わかるのだよ。」
「きしようちょう? いろいろ
って、 どうやってしらべるの?」
「どうやってって・・・。くまた
ろうはかせ、たすけてください。」
おとうさんは、 あそびに いら
していた くまたろうはかせに



たすけを もとめました。

「てんきよほうを だすのに あめ
が どれだけふっているか、かぜが
どのくらいつよいか、あたたかい
かさむいか、にほんじゆうで しらべ
ています。 うみの うえの ふね、
そらにあげた ききゆう、うちゅう
の じんこうせいせいからも、おて
んきについて しらべたことが お
くられてきます。 それをあつめて
きしよよほうしたちが このあと
どうなるかなと かんがえるので
す。とくに、たいふうは、うちゅう
から とつた しゃしんをみると、
くもが うずまいていて、どこまで
きているか よくわかりますね。」
「くまたろうはかせ、たいふうが
はやまると いけないから、どうぞ
おとまりください。」と、おかあさん。
「そうですね。では、 おことばに
あまえることに しましよう。」

かんたん？ いがい？ ためしてみよう！

てんきよほうを きいてみよう！ どんなことを 知っているかな？

てんきよほうは おてんきを おしえてくれる。

あすは はれかな あめかな くもりかな？

さいこう きおんは そのひの なかで

いちばん あついとき、

さいてい きおんは さむいとき。

かぜは つよいかな？

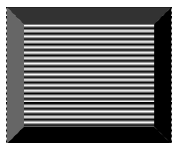
てんきよほうは ほかに どんな

ことを おしえてくれる？



クイズコーナー

① にほんに てんきよほうが
はじまったときから
コンピューターが
よほう してくれた。
ほんと？ うそ？

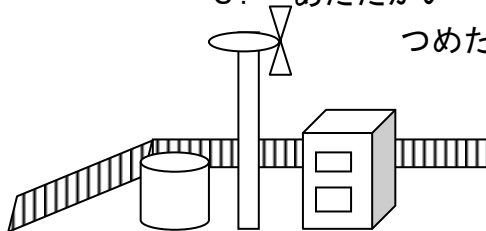


②

アメダスは なにを
しらべる きかい？

1. あめ
2. かぜ
3. あたたかい

つめたい



たいふうに そなえて

ピカリン
かいちゅうでんとう

てまわし じゅうでん しき
ラジオも ついて
とっても べんり！ あんしん！

みんなが みつけた ふしぎ

だれだ せつかく いれた みず
とったの！ ダムに するのに。
せんせい、みはってて！

…… ああ、すなが
のんでる。 (年中3人組)

みんなも みつけた
ふしぎ おしえてね

台風のコースと予報

熱帯低気圧の雲が育ち始めるには、ある程度の水温が必要で、そのために、台風の発生は海水温が高くなる夏から秋になります。

高い水温は多くの水蒸気を生み出します。水蒸気を多く含んだ空気は、じつと重く感じられる一般のイメージとは裏腹に、実際の密度は普通の空気より軽いので、上空に上りやすく、雲が育ちやすくなります。

水温が低いと水蒸気が足りなくて、大量の雲は育たず、台風には育ちません。

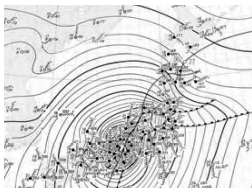
南太平洋や東シナ海でできた台風は、はじめ貿易風によって西にむかい、太平洋高気圧の縁を動いて、最後に偏西風が日本の方に押しやります。

これらの風の強さの加減で、どのコースを辿るかは変わるわけです。季節によってこれらの風の強さの傾向は変わりますから、台風の平均的なコースも月ごとによって変わることになります。最近では例外が多いようですが…。

さて、台風が通過するとき、南からの湿った空気や進路にある水蒸気を巻き込み進みます。

それらの水蒸気をすべて雲にして、大雨にして降らせてしまおうので、台風が過ぎた後は、一般的にはすっきり晴れ上がります。これまた今年には例外が多かったのですが…。

今日、台風の到来は気象衛星で何日も前からわかり、その進路も刻々と予測、修正されて



いきます。このありがたい環境は、実はここ三十年ほどのことです。

1934年に日本を直撃した室戸台風は、三千人もの死者や行方不明者をだしています。この台風は、防災を考える天気予報の転機になりました。

というのも、当時の天気予報ではやってくる台風の規模が今ほど正確にわからず、広報手段にテレビは普及しておらず、そのうえ新聞に掲載される予報では、どんな大きな台風でも「暴風警報」という表現しかありませんでした。そのため、恐ろしさが十分に伝わらず、被害を大きくしたという一面もありました。

気象研究の藤原咲平は室戸の恐ろしさをつぶさに調べ、その後、いつ頃、どのくらい危険になるかを、わかりやすく伝えるお天気用語の工夫をしました。

台風やハリケーンが二つ接近する時におこる、独特の動き方の予測は、藤原効果 (Fujizawa effect) と名づけられて、世界の予報士に利用されています。

1960年代にテレビの普及や災害対策の法律ができ、データの収集、処理の手法が飛躍的に進んでいき、台風による死者は千人単位から十分の一、百分の一以下に減ってきました。ぜひ、気象情報を参考にして、十分に備えをしたいものです。



子供が見つけた不思議・ミニ解説

砂場に山を作り穴を掘り、ダムにしていた男の子たち。バケツ一杯の水を汲んできて溜め、次を汲んで戻ってきたら、水は全くなくなっていました。砂粒自体に保水力はありませんから溜めても水をこぼしているのと同じ。そばで遊んでいた女の子に、とったのか？などと嫌疑をかけ、違うと怒られ謝ったり、散々不思議がって先生を見張りに呼んできました。見ててよ！と念を押して、汲んで帰ってくるともうなくなっていますが、今度は少し早かったせいか、砂の底の方にまだ水があり、それがグングンなくなっていくのを目の当たりにしました。犯人探しは解決ですがダムをあきらめる気にならず、どンドンどンドン汲んできて、20杯目にして念願のダムができ、満足したのでした。ままごとの好きな年長児は濡れた砂でお団子を作るとき、砂が水を吸い込んでいくことも体験しており、この騒ぎをにやにや。覚えたね、年中さん！

実りの秋が来ました

実りの秋です。穀物や木の実がたくさん！お月見、ハロウィーン、あちこちで収穫を祝う秋祭りもさかんです。太鼓の音はどんなふう聞こえますか？かぼちゃのランタンでろうそくはうまく燃えますか？木の葉も色づき始め、虫も鳥も冬の準備です。どんな不思議に会えるでしょう、そして皆さんは冬に向けてどんな準備を始めますか？ふしぎ新聞は皆様がお寄せくださるふしぎでできています。お便りをお待ちしています。新聞はHPより無料でダウンロード可能です。紙面でお読みになりたい場合は一年間(11回)の送料手数料1100円を定額小為替か小額切手で(3部まで同封可)。URL: science-with-mama.com

新連載 よみきかせ ふしぎストーリー
げんかんさきの あれ、なあに ②

園長先生のお家の玄関先にあった茶色い謎の固まり。ごろごろまんまる、あっちむいたりこっちむいたり。

ちあきちゃんも球根だつていうけれど、みうちさんはこんなに大きな球根を見たことはありません。それに、みうちさんがよく知っているチューリップの球根は、頭の先がちよつととがっています。これは頭のでつぱりの先が平らに切れていて、芽が出そうにないのです。

でも、うすい茶色の皮には泥がついています。ところどころ白っぽい緑で、縦に筋が入っています。やつぱり、球根みたいな気もしてきます。「よおーし！」

ちあきちゃんが両手で持ち上げました。幼稚園のハムスターよりずっと大きく見えました。

「おつもーい。くんくん・くっさーい。」顔をしかめたちあきちゃんが、への字の口で、みうちに固まりを差し出してきました。

「ええつ、くさいの？」
おもわず後ずさつたみうちに、両手を背中に

「もえるような夕焼けが南の空にあるのは台風接近の兆し」という言い伝えがあります。今年九月に来た台風の前夕の東京は、まるで火星にでもいるような紅色の世界

紅い世界

になりまし。これは科学的に説明できます。まず台風は南の方からやってきます。台風最上層に吹き出される巻

隠しました。そんな変な物を受け取るわけにはいきません。

「うん、くさい。でも、おいしそう。これ、玉ねぎだ。」

ちあきちゃんが思わぬことをいきました。「玉ねぎい？」みうちゃんはびつくりです。

「ごろごろたまねぎ、あっちむいたり、こっちむいたり。ごろごろどきどき、なんだかこわい。」

「まあ、まあ、みうちさん、そう驚かない。」優しい声が出て、みうちゃんの頭に温かい手がのりまじりました。

「あ、えんちよう先生。」

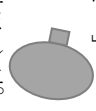
ふたば幼稚園の園長先生は、大きな熊さんに似ています。とっても優しく、みうちゃんが怖くなる時、いつも、ふかふかのぬいぐるみみたいな手で撫でてくれます。

「えんちよう先生、これ玉ねぎだよね。」ちあきちゃんが訊きました。

「そうみたいですわね。」

園長先生はのんびりとしたお声で答えました。「なんで玉ねぎが玄関のわきに並んでるの？」

「なんででしょうねえ。ごろごろごろ……ですね。園長先生にもわかりません。」（つづく）



雲は、水の粒を多く含みます。そのせい青い光が多く散乱され、遠くまで届かずに、南の空からは散乱されにくい赤い光だけが届き夕焼けに見えます。でも、理屈などどうでも、面白い程に恐ろしく異様で、あまりにも美しい夕刻。親の手をぎゅつと握って立ち竦んでいる子を見ました。親子身を寄せる原始時代を思わせ、生の根源を感じた束の間でした。

今月の話題より

ちょっと変わった絵本の楽しみ方

今月も嵐の絵本。嵐に出会う絵本は案外あるものです。「ねずみとくじら」（評論社）ネズミのエーモスは海が大好きでついに船を造り旅にでました。夜光虫のきらめく海で出会ったクジラ達に夢中になって、海に落ちたエーモス、クジラのポーリスに助けられて陸に戻れます。ところが嵐でそのポーリスが浜に打ち上げられてしまい…「チムとゆうかんなせんちようさん」（福音館）船乗りにも憧れた小さなチムは汽船に密航、船員や船長のお手伝いをして船旅をすることに。ところが嵐で船が遭難してしまいます。「くろ雲たいじ」（同）ふゆことはるちゃんと犬のはち。黒雲が雨を降らせるので、目にも留まらぬ早業ではるちゃんの刀が雲を斬ります。雲をやっつけることはできるのでしょうか。「エルマーとりゅう」（同）子ども達が読んでもらいたがる大好

きなお話です。読み聞かせには最高な「エルマーのぼうけん」に続く2作目。1964年の初版から読み継がれる名作です。実はここでも嵐が大活躍(?)。「あめがふるときちようはどこへ」（金の星）そういわれれば、どこに?と、ちょっと首を傾げました。雨が降ると虫は、蛇は、鳥は、みんなどこで雨宿りしているのでしょうか。モノトーンに近い色合いがいかにも雨の日を思わせます。静かな味わい深い絵本です。「月のしかえし」（徳間書店）物語は本格的で、西洋の伝承をもとにイギリスのヘンリー8世時代の風景を背景にした、美しい幻想絵本です。嵐とともにやってきた怪物をセッピーのヴァイオリンで鎮めることができるのでしょうか。「たいふう」（福音館）かこさとし作の科学絵本です。台風の特徴を真つ向から説明してくれます。子供達はすべてわからなくても、わかる場所を吸収します。「ぴかっごろごろ」（同）1968年から版を重ねている、嵐とかみなりを解説した科学絵本です。

クイズ解答 1) うそ。天気予報はコンピューターが開発される前の時代からあった。各地のデータを電信通信で集めて、手作業で天気図を引いて人が予報していた。2) 全部。